

当院のNICUでエンドトキシン吸着療法の 治療を受けられた患者さんご家族のかたへ

下記の臨床研究についてのお知らせとお願いです

課題名：新生児重症敗血症に対するPMXの効果 多施設共同研究

◆研究の目的と概要◆

本研究は、新生児重症敗血症に対するエンドトキシン吸着療法の効果を調べることで、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

エンドトキシン吸着療法とは、重症敗血症に対する体外循環を用いた治療法です。細菌の放出する毒素であるエンドトキシンに加えて、過量に体内で産生された内因性麻薬物質などを除去し、多臓器不全からの早期離脱などの治療効果が得られます。

◆対象となる患者さん◆

2011年4月から、2017年3月までの間に、新生児重症敗血症と診断されエンドトキシン吸着療法を受けられた方。

◆提供されるカルテ情報◆

性別、在胎週数、出生体重、エンドトキシン吸着療法開始時の日齢・体重・身長、エンドトキシン吸着療法の対象疾患、合併症、細菌検査結果、エンドトキシン吸着療法の機器設定・施行上の問題点・治療効果、生命・発達予後

◆研究方法◆

上記臨床情報を、患者さんの氏名などがわからないようにしたうえで、下記機関に対して電子データとして提供します。

◆主な共同研究機関及び研究責任者◆

鹿児島市立病院 平川英司医師が主体となって実施しており、全国 31 施設が参加しています。

主体のホームページ

http://www.kch.kagoshima.jp/bumon/yakuzai_chiken.html

-
- * 患者さん個人が特定されるような情報は提供いたしません。
 - * この研究は、研究主体の倫理委員会の承認を得て行われています。
 - * この研究に関するお問い合わせや、カルテ情報等の提供についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

小児科 研究責任者 澤田 真理子

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明